



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合
発行者 情報宣伝部
2025 年 12 月 17 日 No.975

経営側は「企業型確定拠出年金」の社員説明会を開かぬまま「導入手続きを進める」と東日本ユニオンに通知

社員の理解を得た上で導入準備を進めることなどを求めて緊急申し入れを行う！

東日本ユニオンは 12 月 16 日に経営側より「本人第 913 号『J R 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について』における企業型確定拠出年金の導入に向けた労使交渉について」の通知を受けました。

私たちは「導入スケジュールよりも社員の理解と納得を最優先にするべきである」との問題意識から、12 月 17 日に緊急申し入れを経営側に提出しました。

<本人第 913 号の要旨>

- ・組合とは「企業型確定拠出年金」に係る提案について団体交渉を行っているが、令和 8 年 4 月 1 日に導入するために準備手続きに入らざるを得ない状況である。
- ・会社には組合と十分な議論を尽くす所存であることに変わりないが、スケジュールを踏まえると貴組合の意見要望等については 12 月 18 日まで可能な限り議論を行う準備があることを改めて通知する。

提案されている「企業型確定拠出年金」は、社員 1 人ひとりの将来設計や老後の生活に大きな影響を与える制度です。団体交渉で「社員説明会を開催する予定」と回答したのは経営側自身であるにも関わらず、制度内容を十分に説明せず、社員の疑問や不安を解消しないまま、導入スケジュールを最優先に一方的に導入準備を進めようとする経営姿勢は、到底納得できるものではありません。

【緊急申し入れ項目】

- 「企業型確定拠出年金制度」の対面による社員説明会を早急に開催し、全社員の理解の上、導入準備に入ること。
- 「企業型確定拠出年金制度」の社員説明会の開催日程を具体的に明らかにすること。
- 「企業型確定拠出年金制度」の導入を踏まえた準備手続きとは何か明らかにすること。
- 「企業型確定拠出年金」の導入を踏まえたスケジュールを明らかにすること。